

剣祭にイベント参加 『昔の遊びにチャレンジ』

平成三十年十月二十七日、県立大学にて剣祭が開催されました。昨年は有志を募り剣祭に向けて様々な準備をしましたが、悪天候のため残念ながら参加中止となりました。今年も前日から雨の予報で参加が危ぶまれましたが、何とか実施したいとの皆の願いが通じたのか、昼前には雨も上がり無事執り行うことができました。

今回は有志の会として参加という初の試みでした。「昔の遊びにチャレンジ」のテーマで、お手玉・おはじき・輪投げ・折紙・豆つかみの体験コーナー、人形を使った読み聞かせのコーナー、バルーンアートの実演、手作り品の販売コーナーを設けました。当日は子供連れのご家族中心に五十組以上の方が訪れ、楽しく参加してくださいました。おはじきやお手玉に初めて触れる方がいたり、豆つかみ親子対決ではお子さんの方が上手だったり、それぞれのコーナーは笑い声が溢れ大賑わいでした。子供達がこの素朴な遊びや読み聞かせに目を輝かせ夢中になったのは、有志の方々の遊ばせ上手によるものであったことは言うまでもありません。

大変盛況に終わった剣祭でしたが、今後の課題

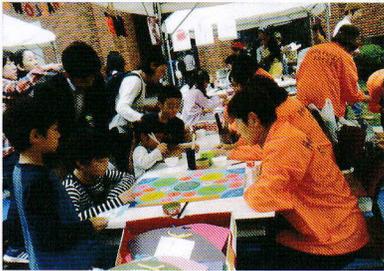
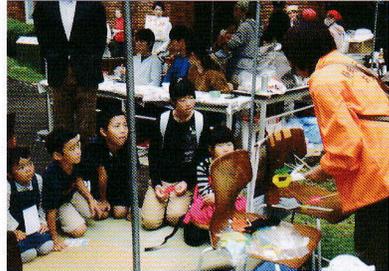


も残りしました。

まず、県立大の学生との接点、連携が薄いこと。今回おとり会の存在そのものが剣祭実行委員会の中で認識されておらず、テント設営のお手伝いを多忙な実行委員の方達にお願いするのが難しい状況でした。何とか設営でき

ましたが、おとり会役員の力だけでは限界があり、今後ますます困難になることが予想されます。また、おとり会のブースに県大生が訪れることはなく、交流を図れなかったことも少し残念でした。次に、有志の方の参加が難しいことです。今まで当番幹事と理事会メンバーで担ってきた剣祭参加ですが、当番幹事の負担軽減を考え、今回有志の参加を決め準備を進めました。しかし、有志の方あつてのイベントとはいえ、当日は諸事情により参加できない方も多いたのが現状です。今後どのような形態にしていくのが良いのか、しっかりと検討していきます。

会員の皆様のご理解、ご協力よろしくお願いたします。今回数々の素晴らしい手作り品を出品してくださいました皆様、当日悪天候の中準備、片付け、お客様の対応にご尽力くださいました皆様本当にありがとうございました。食物学科（大学十二回生）伊藤玲子



秋のみちのく同窓会

関口 恵美子

被服学科（大学五回生）

私たち同窓生は66歳、卒業して44年の歳月が流れました。今回の同窓会は四年振りとなりました。開催場所は仙台の秋保温泉郷に一泊と決定。同窓生のうち七割が静岡以西にお住まいになつてはいるなかで、何故あえて仙台かと申しますと、仙台に住む級友の一人が、お子様の障害のために県外に出られないという事情のためでした。彼女にとってお子様同伴の初めての同窓会でした。

出席者は九名、遠くは札幌・高知からと皆思い思いに観光旅行を兼ねての参加となりました。宿は伊達政宗ゆかりの、ホテル佐勘。二頭張つてきたのですから、ちよつと贅沢なときを楽しみませんか。」と御案内しました。

宴会では、各々が今一番気にしていることや頑張っていることを話し、和気藹々と楽しいひとときを過ごしました。中には「髪を染めることはやめました。」の衝撃(っ)発言も。

私たちの年齢は子育ても卒業し、現役も退いたけれど親の介護が、という方が大勢います。そして御自身も病を得て断念という方も何人かいらっしゃいました。

四年前の同窓会の折、にこやかに出席されていた近藤和恵さんが二月に他界されたことは、返す返すも残念なことでした。和恵さんには、静岡の地にあつて「おとり会」の学級幹事を長いこと務めて頂きました。和恵さんの御主人様から「妻に代わってお礼申し上げます。」と会場にお手紙を頂きました。いつも笑顔で皆から頼りにされた和恵さん、本当に有り難うございました。

時を越え、一気に青春に戻ることが出来る同窓会、学び舎を共にしたからこそその忌憚のない会話、しがらみのない楽しい集い。さて、次回は何時、どこで開かれることになるのでしょうか。またの再会を約束しての散会となりました。



近藤和恵さんは、おとり会の理事（特に会計係）、副会長として、長きにわたり貢献して下さいました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

平成30年度総会報告

平成30年6月10日(日)、おおとり会総会がクーパーホール会館で開催されました。県立大学の真鍋敬学生部長、石川徹学生室長、恩師の榛葉良之助先生、大津山国夫先生、中田修先生、高瀬幸子先生、金井寿男先生、大石邦枝先生、そして第二部講演会講師の蔭山昌弘先生の先生方9名のご臨席と、会員75名の御参加を頂きました。



蔭山昌弘先生

第一部では、榛葉先生より御祝辞を頂いた後、平成29年度事業・会計監査報告があり、平成30年度の事業計画案・予算案という議案に対し、審議いたしました。賛成多数で可決・承認されたことを報告いたします。今年度は今後ホームページを立ち上げることにその意義・費用・問題点についても説明がありました。

第一部の最後には30年度のおおとり会賞を受賞したストリートダンスサークル・ジェネシスを代表して3名の学生さんに御挨拶とダンスの披露を頂きました。

第二部は、蔭山昌弘先生による「生きる力を支えるもの〜いくつもの人生に寄り添って〜」をテーマに講演を頂きました。先生は高校教諭時代からカウンセラーとして多くの生徒、保護者の苦悩を解きほぐしていらつしやいました。人は一人では生きていけない。助けるということは助けられること。自分にダメなところもあるという自覚を持ち、人の話を最後まで聴いて、寄り添い人々でありたいと、生きていく上での心



おおとり会賞を受賞した
ストリートダンスサークル・
ジェネシスの
ダンスパフォーマンス

の拠り所を教わりました。

第三部の懇親会では、恩師の先生方や旧友との再会がとても嬉しく、語り合い、日常を離れて大変楽しく過ごすことができました。

今年度は三、八、十三、十八回の卒業生のお手伝いを頂きながら、理事会イベント係を中心に皆で手分けをして準備を進めて参りました。総会に御参加いただきました皆様には心より御礼申し上げます。今後も多くの皆様の御参加をお待ちしています。

英文学科

(大学十一回生)

飯田信子

ご来賓の恩師の皆様



榛葉良之助先生



金井寿男先生



中田 修先生



大石邦枝先生



高瀬幸子先生



大津山国夫先生

お元気です 平成30年度 総会案内の恩師返信より

有泉宇宙先生

若い頃、手に入れながら積んでいた本が沢山あります。その中からの反故にしたくない本を選んで読んでいます。

今西祐一郎先生

八年間の東京での国文学研究資料館での務めを終え、昨年六月から福岡に戻りました。

桑原 昂先生

致命的なウイークポイントもなく、機嫌良く毎日を過ごしていることに多謝。

小林功子先生

「おおとり会だより」読ませていただきました。皆さん頑張っていますね。嬉しく思います。

近 雅代先生

「おおとり会だより」を拝見し

て、卒業生の方々が各地で活躍なさっていることを嬉しく拝見させていただきました。今後もこのような活躍情報を沢山知りたいなと思います。七十四歳の現在、好きだった山登りは無理としても、山歩き、里歩き、町歩きぐらいは続けたいと思っています。

復本一郎先生

昨年四月、岩波新書から「正岡子規人生のことば」を出版しました。

上條彰次先生

人前では元気そうに振る舞ってききましたが、九十一歳を過ぎても出来なくなっていました。

立田洋司先生

小生も自分の時間がたっぷり取れるようになり、瞑想などを基に創作に取り組んでいます。

『滴々の歌碑』と『新生への礎』

静岡県立大学の入口に、母校を偲ぶモニュメントが設置されているのをご存知でしょうか。

はばたき棟(事務棟)横の『静岡女子短期大学』と『静岡女子大学』の礎石の右側にある『滴々の歌碑』は、昭和49年静岡女子大学に建立されました。碑に彫られている歌は、高原博氏(昭和26年〜48年女子短大・女子大に奉職。名誉教授であると共に歌人)が、昭和42年女子大開学にあたり記念歌として提出した二首のうちの一ひとつです。月日が経ったこの歌碑を今年度おとり



「滴々の歌碑」



「新生への礎」

また、はばたき棟近くの植え込みに『新生への礎』(赤地経夫氏・作)が設置されています。この石碑は、

母校の存在を形として残したいという同窓生の思いから、平成9年県立大学創立10周年記念行事に併せておとり会によって寄贈されました。現在は、県立大で周辺を整備して下さっています。同窓の皆さん、県立大学にお越しの際には想い出を辿りながら、ぜひこれらのモニュメントをご覧になって下さい。

国文科同窓生へのお知らせ

文学散歩「沼津を歩く」

国文科同窓会では、今年の秋に文学散歩として「沼津を歩く」を行います。千本松原にある若山牧水をはじめ歌人や文人の文学碑を巡ったり、昼には沼津の海の幸グルメを楽しみたいと思います。

参加希望者は、9月10日頃までに各クラス幹事様にお申し込みください。

(「会報」第九号P80・81参照)

※実施日 2019年10月20日(日)

JR沼津駅南口 10時集合

※参加費 3500円程度(昼食代含む)

国文学科(大学一回生) 西脇里美



沼津、千本松原

平成29年度 決算報告書

総収入 8,735,907円 総支出 1,050,303円 残高 7,685,604円(繰越金)

自平成29年4月1日 至平成30年3月31日 (単位:円)

収入の部				支出の部					
費目	29年度予算額	決算額	増減	備考	費目	29年度予算額	決算額	増減	備考
預金利息	5,000	12,446	7,446	定期郵貯・通貯郵貯	事業費	300,000	109,194	-196,645	総会、剣祭
基金入金	200,000	915,717	715,717	263件	会議費	150,000	144,161	-5,839	役員会、理事会、幹事会、評議会、心身検査
剣祭収益金	0	0	0		印刷費	20,000	11,149	-8,851	会議用資料、総会資料印刷
雑収入	0	5,000	5,000		通信費	40,000	15,054	-24,946	会議通知、来賓案内状、連絡等
					慶弔費	50,000	15,000	-35,000	葬儀花代
					事務・雑費	20,000	40,946	20,946	印刷用紙、インク、文具等
					平和大松印刷	220,000	227,512	7,512	会報、総会案内
					備サラト	500,000	476,679	-23,321	会報・総会案内発送業務、データ管理
					予備費	30,000	10,608	-19,392	県大同窓会パーティー会費等
小計	205,000	933,163	728,163		小計	1,330,000	1,050,303	-279,697	
前年度繰越金	7,802,744	7,802,744	0		次年度繰越金	6,677,744	7,685,604	1,007,860	
総計	8,007,744	8,735,907	728,163		総計	8,007,744	8,735,907	728,163	

上記のとおり報告致します。

平成30年3月31日

会長/長屋梅子

会計/井上明子・大倉一美

監査の結果、相違なく適正と認めます。平成29年4月23日

会計監査/杉山雅子・大塚一恵

平成30年度 予算

総収入 7,750,604円 総支出 7,750,604円 残高 0円

自平成30年4月1日 至平成31年3月31日 (単位:円)

収入の部				支出の部					
費目	30年度予算額	29年度予算額	増減	備考	費目	30年度予算額	29年度予算額	増減	備考
預金利息	5,000	5,000	0	定期郵貯・通貯郵貯	事業費	200,000	300,000	-100,000	総会、剣祭
基金入金	500,000	200,000	-150,000		会議費	170,000	150,000	20,000	役員会、理事会、会報・名簿・イベント各委員会等
剣祭収益金	10,000	0	10,000		印刷費	20,000	20,000	0	会議用資料、総会資料印刷
					通信費	20,000	40,000	-20,000	会議通知、来賓案内状、連絡等
					慶弔費	50,000	50,000	0	弔電、香典、記念品等
					事務・雑費	50,000	20,000	30,000	印刷用紙、インク、文具等
					平和大松印刷	220,000	220,000	0	会報、総会案内
					備サラト	500,000	500,000	0	会報・総会案内発送、データ管理
					予備費	30,000	30,000	0	
前年度繰越金	7,685,604	7,802,744	-117,140		次年度繰越金	6,490,604	6,677,744	-187,140	
合計	7,750,604	8,007,744	-257,140		合計	7,750,604	8,007,744	-257,140	

前年度繰越金内訳(定期郵貯 7,195,337円) + (通常郵貯 490,267円) = (合計 7,685,604円)

*他費目への流用を認める

おとり会委員名簿変更についてのお願い

住所変更および住居表示変更の場合は各科の名簿係またはクラス幹事までご連絡ください。尚、クラス幹事は変更内容を各科の名簿係にお知らせください。

- 国文学科 山本千秋
- 英文学科 瀧 智子
- 食物学科 赤堀美里
- 被服学科 長田直子

- 編集委員 石田加苗・岩崎たか江・加藤久江・森 恵美